

## **July 22, 1949**

### **The China Issue**

#### **Citation:**

"The China Issue", July 22, 1949, Wilson Center Digital Archive, National Archives and Records Administration, Record Group 242, National Archives Collection of Foreign Records Seized, 1941-, Records Seized by U.S. Military Forces in Korea, Shipping Advice 2006, Item 11/36. Obtained by Charles Kraus.

<https://wilson-center.drivingcreative.com/document/121609>

#### **Summary:**

A secret North Korean intelligence file on developments in the Chinese Civil War.

#### **Credits:**

This document was made possible with support from MacArthur Foundation

#### **Original Language:**

Korean

#### **Contents:**

Original Scan

12237

秘

中國新聞

情報

部

임무성 (Seal) 문하과

No. 2-20  
156  
19 49년 7월 22일

博報

博報

一九四七年八月二十二日

中國國民黨中央軍口事資料集

北平解放人民委員會

榮 益 林 山 麓 葵

北平解放人民委員會

徐州緩署 薛岳

第一緩署 區鴻恩 伯已 調任 豫軍 任 司令 官

十九集團軍 張雪舟

三軍 (劉湘) (川北)  
五軍 (雷) (川北)  
四軍 (王) (川北)  
二軍 (李) (川北)

第三緩署 王輝武

二十集團軍 夏楚中

三軍 (李) (川北)  
八軍 (李) (川北)  
九軍 (李) (川北)

第三緩署 (馬治宇)

第八緩署 (夏成)

三三集團軍 (李) (川北)

五軍 (李) (川北)  
六軍 (李) (川北)  
七軍 (李) (川北)

鄭州緩署 劉峙

北朝鮮人民委員會外務局

第一緩署 胡宗南

三三集團軍 (王) (川北)

三軍 (王) (川北)  
四軍 (王) (川北)  
五軍 (王) (川北)

三三集團軍 (劉) (川北)

三三集團軍 (董) (川北)

第四緩署 (劉) (川北)

六軍 (劉) (川北)  
七軍 (劉) (川北)  
八軍 (劉) (川北)

第五緩署 (張) (川北)

九軍 (張) (川北)  
十軍 (張) (川北)  
十一軍 (張) (川北)

膠州緩署 朱漢謀

川豫緩署 邓錫侯

鄂豫緩署 潘文華

十二軍 (潘) (川北)  
十三軍 (潘) (川北)  
十四軍 (潘) (川北)

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

5

第三战区 (俞錫山)

六集团军 王 靖国

七集团军 趙 承綏

八集团军 孫 楚

第八战区 陶峙岳

三集团军 (趙壽山)

十七集团军 (馬鴻逵)

二十九集团军 (李鉄軍)

新疆警備總部 (錢大鈞)

重慶警備總部 (蔣元良)

台灣警備總部 (陳儀)

成都行轅

西昌行轅

西北行營

六二軍 王靖国 同補南段

三三軍 趙承綏 同補北段

三九軍 楊俊源 同補北段

三四軍 孫楚 同補北段

一七軍 高道台 同補南段

九一軍 王 晉 同補南段

八二軍 馬鴻逵 同補南段

八六軍 馬鴻逵 同補南段

二九軍 李鉄軍 同補南段

二軍 馬步芳 同補南段

七軍 馬步芳 同補南段

北朝鮮人民委員會外務局

附記：國民黨中央軍陸軍是 正總軍 九二軍 九三軍 九四軍 九五軍 九六軍 九七軍 九八軍 九九軍 一〇〇軍 一〇一軍 一〇二軍 一〇三軍 一〇四軍 一〇五軍 一〇六軍 一〇七軍 一〇八軍 一〇九軍 一〇一〇軍 一〇一一軍 一〇一二軍 一〇一三軍 一〇一四軍 一〇一五軍 一〇一六軍 一〇一七軍 一〇一八軍 一〇一九軍 一〇二〇軍 一〇二一軍 一〇二二軍 一〇二三軍 一〇二四軍 一〇二五軍 一〇二六軍 一〇二七軍 一〇二八軍 一〇二九軍 一〇三〇軍 一〇三一軍 一〇三二軍 一〇三三軍 一〇三四軍 一〇三五軍 一〇三六軍 一〇三七軍 一〇三八軍 一〇三九軍 一〇四〇軍 一〇四一軍 一〇四二軍 一〇四三軍 一〇四四軍 一〇四五軍 一〇四六軍 一〇四七軍 一〇四八軍 一〇四九軍 一〇五〇軍 一〇五一軍 一〇五二軍 一〇五三軍 一〇五四軍 一〇五五軍 一〇五六軍 一〇五七軍 一〇五八軍 一〇五九軍 一〇六〇軍 一〇六一軍 一〇六二軍 一〇六三軍 一〇六四軍 一〇六五軍 一〇六六軍 一〇六七軍 一〇六八軍 一〇六九軍 一〇七〇軍 一〇七一軍 一〇七二軍 一〇七三軍 一〇七四軍 一〇七五軍 一〇七六軍 一〇七七軍 一〇七八軍 一〇七九軍 一〇八〇軍 一〇八一軍 一〇八二軍 一〇八三軍 一〇八四軍 一〇八五軍 一〇八六軍 一〇八七軍 一〇八八軍 一〇八九軍 一〇九〇軍 一〇九一軍 一〇九二軍 一〇九三軍 一〇九四軍 一〇九五軍 一〇九六軍 一〇九七軍 一〇九八軍 一〇九九軍 一〇一〇〇軍

一九四七年八月以後之發展 以爲未詳

中國東北籍介石中將軍正視部隊指揮系統表 五五五九

主任 熊式輝

司令官 杜聿明

副司令官 孫渡

參謀長 黃洞園

參謀長 梁華盛

19A 總司令

孫渡

60A 副總司令

梁華盛

210 參謀長

陳南又

100A 白肇年

93A 盧濬良

警 200 新澤滙

警 200 顧濤

警 180 許義濬

17A 石覺

40 駱振韻

80 史松泉

50 方定仁

52A

北朝鮮人民委員會外務局

20 趙世章

195 陳林達

160 李理

130 李新

90 趙新

新 5A

140 龍天武

新 300 李濤

200 羅又倫

新 300 李學光

新 300 李鵬

50 潘裕崑

北朝鮮外務局

葉振宇



REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

東北敵軍戰術序列表

九中本屯九夜之日

東北行營

東部保安司令長官部

第一緩堵區

第一集團軍總司令部

七二軍 九二師 (司令部) 本緩堵區外

九三軍 九四師

九五師

九六師 (司令部)

九七師 (司令部)

九八師 (司令部)

九九師 (司令部)

一〇〇師 (司令部)

北朝鮮人民委員會外務局

東部保安司令部

第二緩堵區

十三軍

五三軍 一三〇師

東北保安司令部

東北保安司令部

東北保安司令部

東北保安司令部

東北保安司令部

第三緩堵區

五三軍 二五師

六二軍 八一師

東北保安司令部

東北保安司令部



東北保安司令部  
東北保安司令部  
東北保安司令部

冀東縱隊

九五師  
四三師  
一二師

東北保安司令部

警備司令部

北平警備司令部

山海關警備司令部

總指揮部

第一軍

新三十八師

東北縱隊

新五師  
新六師

特務團

獨立步兵師(即二師)

獨立工兵師

獨立工兵師

北朝鮮人民委員會外務局

獨立工兵師

獨立工兵師

獨立工兵師

獨立工兵師

獨立工兵師

直轄部隊

第一軍

(即第一師)

第一大隊(表名不明)

第二大隊(表名不明)

第三大隊(表名不明)

第四大隊(表名不明)

第五大隊(表名不明)

第一軍

第二軍

第三軍

第四軍

第五軍

第六軍

第七軍

第八軍

第九軍

第十軍

第十一軍

第十二軍

第十三軍

第十四軍

第十五軍

第十六軍

第十七軍

第十八軍

第十九軍

第二十軍

第二十一軍

第二十二軍

第二十三軍

第二十四軍



中國人民軍中央軍校校長及副校長

一九五〇年九月

及通部

軍事顧問

軍事顧問

軍事顧問

第一總隊 (湖南或陝西)

第一大隊

湖南或陝西

第二大隊

湖南或陝西

湖南或陝西

第三大隊

湖南或陝西

第四大隊

湖南或陝西

第五大隊

湖南或陝西

第六大隊

湖南或陝西

第七大隊

湖南或陝西

第八大隊

湖南或陝西

第九大隊

湖南或陝西

第十大隊

湖南或陝西

第十一大隊

湖南或陝西

第十二大隊

湖南或陝西

第十三大隊

湖南或陝西

第十四大隊

湖南或陝西

第十五大隊

湖南或陝西

第十六大隊

湖南或陝西

第十七大隊

湖南或陝西

第十八大隊

湖南或陝西

第十九大隊

湖南或陝西

第二十大隊

湖南或陝西

北朝鮮人民委員會外務局

此部  
1. 本局是以前軍部統轄的...  
2. 本局是以前軍部統轄的...  
3. 本局是以前軍部統轄的...  
4. 本局是以前軍部統轄的...  
5. 本局是以前軍部統轄的...  
6. 本局是以前軍部統轄的...  
7. 本局是以前軍部統轄的...  
8. 本局是以前軍部統轄的...  
9. 本局是以前軍部統轄的...  
10. 本局是以前軍部統轄的...  
11. 本局是以前軍部統轄的...  
12. 本局是以前軍部統轄的...  
13. 本局是以前軍部統轄的...  
14. 本局是以前軍部統轄的...  
15. 本局是以前軍部統轄的...  
16. 本局是以前軍部統轄的...  
17. 本局是以前軍部統轄的...  
18. 本局是以前軍部統轄的...  
19. 本局是以前軍部統轄的...  
20. 本局是以前軍部統轄的...  
21. 本局是以前軍部統轄的...  
22. 本局是以前軍部統轄的...  
23. 本局是以前軍部統轄的...  
24. 本局是以前軍部統轄的...  
25. 本局是以前軍部統轄的...  
26. 本局是以前軍部統轄的...  
27. 本局是以前軍部統轄的...  
28. 本局是以前軍部統轄的...  
29. 本局是以前軍部統轄的...  
30. 本局是以前軍部統轄的...  
31. 本局是以前軍部統轄的...  
32. 本局是以前軍部統轄的...  
33. 本局是以前軍部統轄的...  
34. 本局是以前軍部統轄的...  
35. 本局是以前軍部統轄的...  
36. 本局是以前軍部統轄的...  
37. 本局是以前軍部統轄的...  
38. 本局是以前軍部統轄的...  
39. 本局是以前軍部統轄的...  
40. 本局是以前軍部統轄的...  
41. 本局是以前軍部統轄的...  
42. 本局是以前軍部統轄的...  
43. 本局是以前軍部統轄的...  
44. 本局是以前軍部統轄的...  
45. 本局是以前軍部統轄的...  
46. 本局是以前軍部統轄的...  
47. 本局是以前軍部統轄的...  
48. 本局是以前軍部統轄的...  
49. 本局是以前軍部統轄的...  
50. 本局是以前軍部統轄的...  
51. 本局是以前軍部統轄的...  
52. 本局是以前軍部統轄的...  
53. 本局是以前軍部統轄的...  
54. 本局是以前軍部統轄的...  
55. 本局是以前軍部統轄的...  
56. 本局是以前軍部統轄的...  
57. 本局是以前軍部統轄的...  
58. 本局是以前軍部統轄的...  
59. 本局是以前軍部統轄的...  
60. 本局是以前軍部統轄的...  
61. 本局是以前軍部統轄的...  
62. 本局是以前軍部統轄的...  
63. 本局是以前軍部統轄的...  
64. 本局是以前軍部統轄的...  
65. 本局是以前軍部統轄的...  
66. 本局是以前軍部統轄的...  
67. 本局是以前軍部統轄的...  
68. 本局是以前軍部統轄的...  
69. 本局是以前軍部統轄的...  
70. 本局是以前軍部統轄的...  
71. 本局是以前軍部統轄的...  
72. 本局是以前軍部統轄的...  
73. 本局是以前軍部統轄的...  
74. 本局是以前軍部統轄的...  
75. 本局是以前軍部統轄的...  
76. 本局是以前軍部統轄的...  
77. 本局是以前軍部統轄的...  
78. 本局是以前軍部統轄的...  
79. 本局是以前軍部統轄的...  
80. 本局是以前軍部統轄的...  
81. 本局是以前軍部統轄的...  
82. 本局是以前軍部統轄的...  
83. 本局是以前軍部統轄的...  
84. 本局是以前軍部統轄的...  
85. 本局是以前軍部統轄的...  
86. 本局是以前軍部統轄的...  
87. 本局是以前軍部統轄的...  
88. 本局是以前軍部統轄的...  
89. 本局是以前軍部統轄的...  
90. 本局是以前軍部統轄的...  
91. 本局是以前軍部統轄的...  
92. 本局是以前軍部統轄的...  
93. 本局是以前軍部統轄的...  
94. 本局是以前軍部統轄的...  
95. 本局是以前軍部統轄的...  
96. 本局是以前軍部統轄的...  
97. 本局是以前軍部統轄的...  
98. 本局是以前軍部統轄的...  
99. 本局是以前軍部統轄的...  
100. 本局是以前軍部統轄的...

材料來源 - 丁雷杉 1982.11.14 止

情  
報  
誌

1982年  
11月  
14日

國民黨中央調查統計局沿革  
及時期表

北平聯合會  
及重慶公報局

東亞部  
汪英

北平聯合會

中央軍陸軍總司令部編制表

一九四九年九月廿五日

總司令

副總司令

副總司令

參謀長

副參謀長

辦公主任

第一署

初二處 (王副參謀長)

第二署 (情報)

初二處

第三署 (作戰)

初二處

第四署 (編制)

初二處

第五署

初四處

第六署 (訓練)

初二處

北朝鮮人民委員會外務局

總務處

財政處

經理處

軍法處

軍械處

軍醫處

工務處

通訊處

新報處

外事處

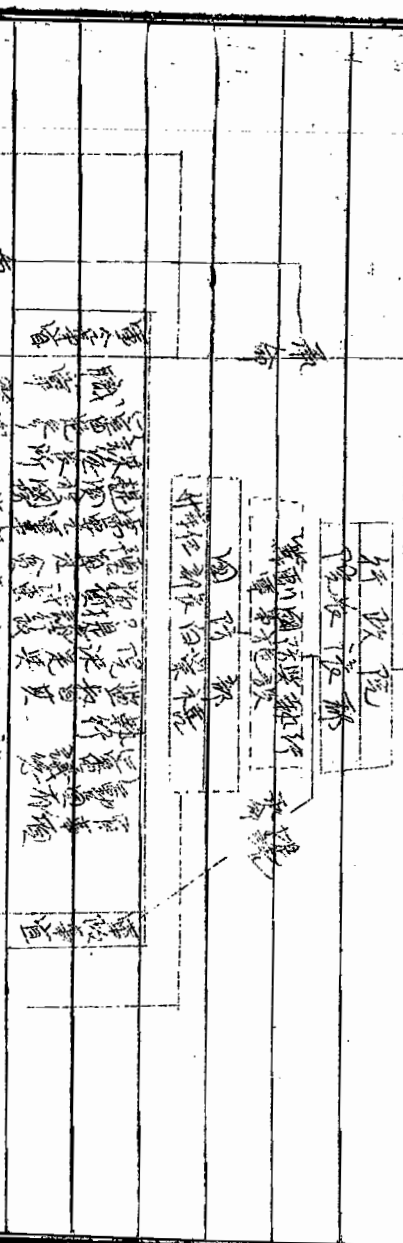
未設參謀長



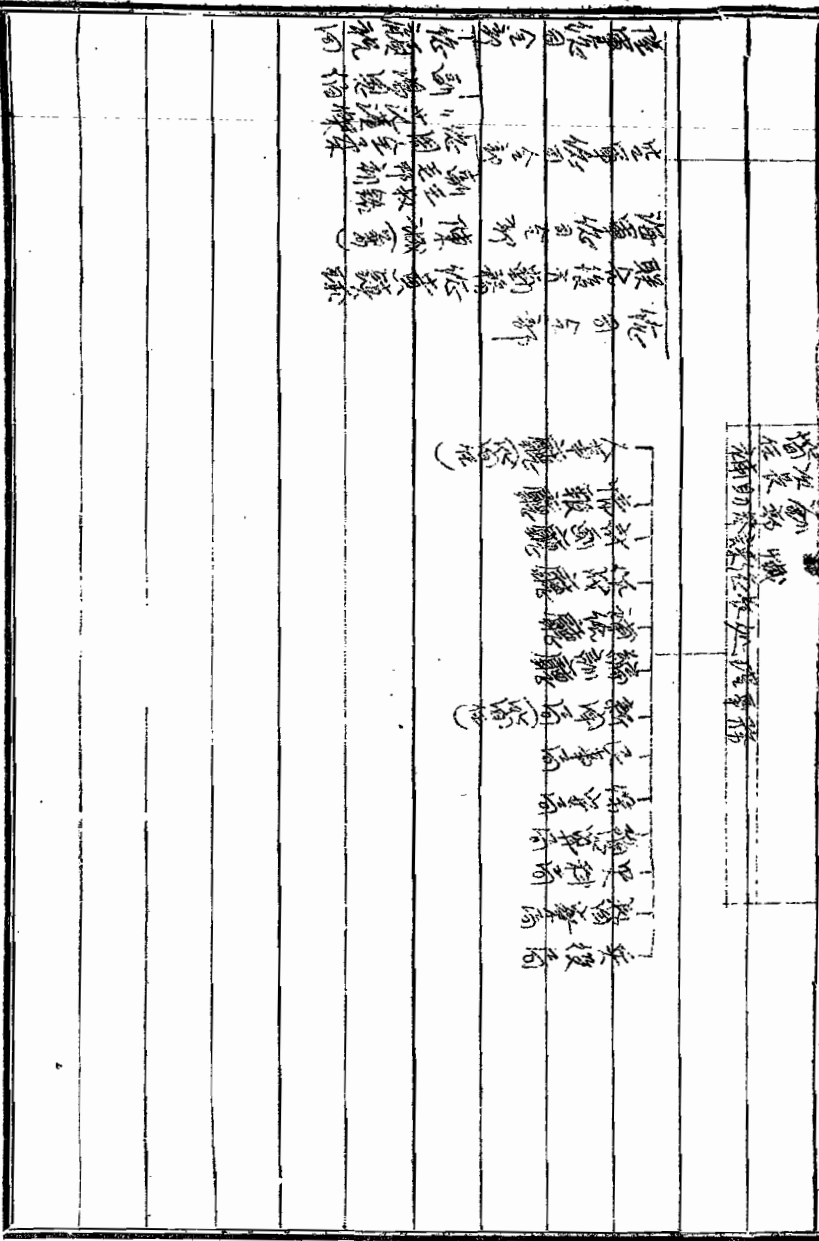
|                           |  |
|---------------------------|--|
| 全國預備軍(中央軍)政用名列表 一九四一、四二編製 |  |
| 陸軍總司令部                    | 總司令 顧祝同 副總司令 湯恩伯 沈漢傑                   |
| 東北行營 總司令部                 |  |
| 東北保安司令部 長官部               | (杜聿明) 九四軍 新六軍 十三軍 五二軍 五三軍 七一軍 九三軍 道橋部隊 |
| 北平行營 李英仁                  |  |
| 第十二戰區(孫連仲)                |  |
| 四集團軍(李學中)                 | 三軍 魏野九 (平漢北線) 四軍(李振清) (石向)             |
| <b>北朝鮮人民委員會外務局</b>        |  |
| 三南集團軍 李又                  | 十軍(李正述) (平海線) 九軍(李鏡九) (海州)             |
| 第三戰區 傅作義                  | 二二軍(左世元) (陝綏邊) 二七軍(何文瀾) (綏遠)           |
| 晉綏邊區 (邢玉珊)                | 二八軍(馬占山) (晉北) 二九軍(傅作義) (綏遠)            |
| 漢行營(程潛)                   | 三十一軍                                   |
| 第六綏靖區 周 岳                 | 二九軍(宋錫珩) (鄂北) 三〇軍(宋錫珩) (鄂北)            |
| 第七綏靖區 王陵基                 | 三二軍(歐震) (陝中) 三三軍(歐震) (陝中)              |
| 十集團軍 歐 震                  | 三九軍(歐震) (陝中) 四〇軍(歐震) (陝中)              |
| 三集團軍 李玉堂                  | 四一軍(韓德麟) (陝中) 四二軍(韓德麟) (陝中)            |
| 豫州行營 張震奎                  | 四三軍(張震奎) (豫東) 四四軍(張震奎) (豫東)            |

中國人民革命軍事委員會總務處 1949.5.30公佈

軍事機關幹部  
團長級以上幹部



北朝鮮人民委員會外務局





情報部

秘

一九四九年八月

國社黨の由来

北朝鮮人民委員会

外務部高東溼部

北朝鮮人民委員会

### 國社黨の由來

一九三〇年春季、中國三農紅軍の出現、甚るるに因りて、  
 上海の大部分大學教授（張君勱、張東蓀）の官僚改革  
 （滿御銘、徐夢岩）の中國共產黨の力量の増長點を調  
 察す。同時の正、國民黨の統制の何、以て發起し、其時  
 外來科考文即申す。中國の「自由論派」の  
 派の又甚るる梁實秋の諸君來、甚るる於政黨の章士釗の  
 吸收の如何、二の最初の一定の「若孫」一定の組織  
 形式の如何、單只後の「羅隆基、梁實秋」の如何、自由論  
 派の如何、一の刊物を「取扱」の如何、外人の如何、自由論派の  
 早の如何、馬來、張東蓀の一九三〇年上海の如何、時事新  
 報を「主持」の如何、國社主義の主張を「高揚」の如何、一  
 九三〇年北平の如何、教鞭を「担」の如何、黨綱を「修」の如何、  
 如何、二の時張君勱の「燕京大學」の如何、兩人の「商議」の  
 如何、益世報の「筆」羅隆基の如何、兩生の如何、發起  
 組織の如何、兩生組織雜誌を「發刊」の如何、二階級對象の如何、兩張  
 の「學生」の如何、政界の如何、北平の「總部」を「設置」の  
 如何、天津、上海、武漢、蘇州の如何、人分を「設立」の如何、以て其を「兩  
 生時期」の如何、天津、北平の如何、活動の如何、  
 一面の如何、當時「農革命」の如何、恐怖の如何、表示  
 如何、如何、民族本位の如何、共產主義の如何、又對

### 北朝鮮人民委員會外務局

論の如何、一の刊物を「取扱」の如何、外人の如何、自由論派の  
 早の如何、馬來、張東蓀の一九三〇年上海の如何、時事新  
 報を「主持」の如何、國社主義の主張を「高揚」の如何、一  
 九三〇年北平の如何、教鞭を「担」の如何、黨綱を「修」の如何、  
 如何、二の時張君勱の「燕京大學」の如何、兩人の「商議」の  
 如何、益世報の「筆」羅隆基の如何、兩生の如何、發起  
 組織の如何、兩生組織雜誌を「發刊」の如何、二階級對象の如何、兩張  
 の「學生」の如何、政界の如何、北平の「總部」を「設置」の  
 如何、天津、上海、武漢、蘇州の如何、人分を「設立」の如何、以て其を「兩  
 生時期」の如何、天津、北平の如何、活動の如何、  
 一面の如何、當時「農革命」の如何、恐怖の如何、表示  
 如何、如何、民族本位の如何、共產主義の如何、又對

此を提出せしむ。在り方面を以て當時蒋介石の改革の  
 本構を以てしんんんん。二は地帯を分級せしむ。新  
 民主政治の口を以て提出せしむ。該黨幹部を甲乙の輩を以て  
 宣言の、中国の現在を以て改革の口を以て。性質論を以て。国民党之  
 腐敗化を以て。共産党之悪化を以て。青年党之頑固化を以て。行動  
 論を以て。国民党之官僚化を以て。共産党之土匪化を以て。青年  
 党之學究化を以て。主義論を以て。三民主義之混純を以て  
 共産主義之激進を以て。國家主義之首武を以て。時代論を以て  
 国民党之前期革命を以て。共産黨之混乱時代外儀性論を以て  
 青年党之過渡時代外儀性論を以て。此の口を以て。

九八以後。二は當時環境の適應を以て。一般人の口を以て  
 別が為しの口を以て。流動内容を以て。増加を以て。抗日救國の

北朝鮮人民委員會外務局

旗幟を以て。政府の外交政策を以て。攻撃の口を以て。積極的を以て  
 救國運動を以て。提出を以て。此の口を以て。大部分を以て。本身の  
 要求の反映を以て。同時の口を以て。二地位を以て。此の口を以て  
 此の口を以て。政権の参加を以て。一手段を以て。此の口を以て。客觀上を以て  
 是れは、進歩的作用を以て。引起を以て。一部分を以て。青年學生の  
 好評を以て。同時の口を以て。卒業後の出路を以て。此の口を以て。圖謀を以て  
 此の口を以て。一部分を以て。青年群衆の機軸を以て。此の口を以て。一三八派派の  
 争議を以て。此の口を以て。救工を以て。華北の激進化を以て  
 是れ、愛國青年を以て。逮捕を以て。此の口を以て。張君勵之を以て。此の口を以て  
 此の口を以て。易知吳化を以て。此の口を以て。沈謙を以て。此の口を以て。羅隆  
 基、湯安秋、張東蓀、徐溥霖を以て。相議を以て。此の口を以て。此の口を以て  
 函生記、臨時代表大會を以て。存存を以て。正式を以て。國家社会を以て。

組織の總務を北平の設置に於て張君勳を總務、羅隆  
 基を組織、梁寒秋を宣傳と選任す。因生を北平の工  
 務局長に任ず。

二 國社會の理論の主張

五四時代の中國の科學の發達の競争の起るは、當時  
 張東蓀の著する『國體論』に於て精神作用を強調し、  
 國體を此の概念に於ては、感覺の作用に於ては、  
 科學の理論作用の作用の辯證唯物論以下唯物論を  
 反對し、社會機能性を提唱す。社會の經濟、政治、  
 法律の三原理を構成し、其の中の一は經濟  
 の變動の起るは、社會の變動の起るは、又國體  
 論の「世界觀」に「史觀」に、其基本可能の以上三點あり

北朝鮮人民委員會外務局

以下

(一) 國家民族本位主義、該黨は改進黨の中、  
 念を人類中の各階級の間に於ては、階級觀念は、  
 今を以て之の、以前に於ては、自前の事態の起るは、  
 利益の高度の達し、階級を以て、境界線を以てし、  
 是故に、日本人の中國を以て、  
 日本が對其に中資本の流入の對其に、  
 此れを抵抗し、民族觀念の人心を以て、  
 階級觀念の比較的強し、此れ民族の階級  
 の横斷を以て、階級の起るは、  
 是れを以て、  
 國體論、國家化の起るは、  
 階級社會主義の民族化の起るは、



このころに在る北共の和平手段は、経済的改良と列強の承認  
の手段による。徹底し組織社会革命を實行する方針は、

三 回北共の組織

回北共の最新方針機関の全同代表大会の閉幕後、中央總務  
委員会と早計の党務を主持し、中央糾察委員会を設け、  
これに該党の監察機関を置き、全党の中央總務、支那人の  
部、三級委員の分割を以て、中央總務委員会を規定し、これに七  
人は早計の一人を組織し、候補は三人乃至九人の組織  
委員会を設け、總務委員を首領とする。この委員は、財政、組織、  
宣伝、地方の五部を設け、毎部の正副委員長一人を早  
計、渡衛田を早計の秘書人とする連絡を以て、此の中央党団の  
類似組織

北朝鮮人民委員會外務局

過去該党の中央組織は、總務委員会、張元勳、張東孫、  
陸鼎模、羅文幹、羅隆基、潘春來、湯翰銘、盧博昌等八  
人の組織、秘書長張元勳、組織部長張元勳、潘春來、盧博昌等  
の組織、秘書長張元勳、張元勳、張元勳、張元勳、張元勳、其  
他の張元勳、徐金勉、潘光迪、潘光迪、胡石春、王有稿、徐  
海霖、蔣白田、江偉、章士釗等、是れ該党の重要分子  
を以て、彼の張東孫、羅隆基、梁實秋等、院の該党を  
脱離し、湯翰銘、潘春來、陸鼎模、梁秋銘等、先後に  
朝鮮に投降し、羅文幹、胡石春、北に、江偉、章士釗等  
に該党を在るべき、党員潘光迪、民族同盟会、同階級、  
上の、正党を破壊し、これに、(回北共)提出し、  
現在組織は、この重瓦解の極に、致し、この會議を閉

惟孔曉之在哈也 言其的計其也

抗敵前北哈與盛時之黨多六百人其也北平之百餘人  
香港之五千人 南京、上海之七千人 武漢之二十餘人 天津之  
五千人 湖南、山東之該黨之支部多也 抗敵初期百餘  
人之孔曉之 後之黨人多發展之 停止孔曉之 現抗重慶尚有  
黨者四十四多 總部之設置也 西南各黨之司馬 該黨  
之事業機關之孔曉之 其黨之成立也 大体之官修政學  
在抗統統 進步有 教授等上層分子也 此也

過去因孔曉之內部之兩派之別也 一是張君勱派 一是羅  
隆基、梁實秋派也 張派之陸鼎揚、張以學、孫斯  
鳴、馮今向、劉致遠、張亞夫等也 四派、梁派之紀之勤等也  
此之兩派之關係之甚烈也 張君恒常之學生也 此也

北朝鮮人民委員會外務局

此梁羅等 攻擊孔曉之 梁羅之在野之表示也 此也  
又梁羅等 實行孔曉之 張君勱之 王叔東先生之計也 此也  
南書信 是表表也 後 梁、羅之反對也 此也  
此是因孔之退黨也 要求孔曉之  
該黨之 機關也 再生也 此也 此也  
在社會黨 是改革也 決定孔曉之 此也 此也 此也  
是 此也 此也

四、因孔曉之政治活動

因孔曉之 一九三三年之能成也 此也 此也 此也  
愛國心也 青年學生也 吸取孔曉之也 此也 此也 此也  
此也 此也 此也 此也 此也 此也 此也 此也 此也 此也  
他一方面之是也 此也 此也 此也 此也 此也 此也 此也 此也 此也 此也









平和なり。休養の必要あり。有利のあり。戦争は主  
 張の矛盾あり。和平を主張する者も、和平を主張する者も、及  
 者此の矛盾あり。和平を主張する者も、和平を主張する者も、及  
 戦争の和平を同一の連続の現象と見る。世上の戦争は、  
 吳法其の如く、任精衛の進退以後、國家社会党の一部分領袖  
 人物の漸次、張湯蘇銘等の人物は上海の國家社会党  
 政体委員合名義を組織する。任精衛を擁護し  
 是殺敵の計あり。重慶のこの該党の召集の党大会の上  
 某人の張湯二及張湯の党籍を取消する。張湯の如く  
 之の張君の如く、張湯の如く、五里半の如く、  
 其党籍を取消する。

北朝鮮人民委員會外務局

党の利用を為す。其昔の党を及対あり。張君の如く  
 七省の一九三八年青年、毛沢東先生の如く、  
 八路軍の任命の指揮を完全の計、  
 特選の取捨の如く、主張の如く、  
 取捨の如く、及分子の如く、  
 此は、  
 其の如く、  
 数倍以上の如く、  
 統一の如く、  
 外交上の如く、  
 其技術の発展を、  
 其極力を、

也。及後介石。極力言。今作。疏。疏。通。此。此。地。方。方。力。力。言。言。  
 陳。陳。南。南。崇。崇。祿。祿。慶。慶。韓。韓。後。後。築。築。吳。吳。佩。佩。等。等。等。等。之。之。往。往。來。來。以。以。此。此。抗。抗。戰。戰。初。初。期。  
 之。之。言。言。之。之。多。多。方。方。面。面。之。之。言。言。之。之。因。因。民。民。黨。黨。之。之。核。核。對。對。抗。抗。戰。戰。之。之。張。張。惠。惠。庭。庭。而。而。該。該。黨。黨。之。之  
 代。代。表。表。以。以。對。對。蔣。蔣。在。在。內。內。書。書。信。信。之。之。里。里。以。以。此。此。政。政。府。府。之。之。擁。擁。護。護。此。此。以。以  
 誠。誠。意。意。言。言。者。者。亦。亦。以。以。此。此。以。以。今。今。民。民。族。族。之。之。存。存。亡。亡。可。可。容。容。易。易。為。為。之。之。計。計。則。則。一。一。大。大。舉。  
 以。以。心。心。之。之。言。言。之。之。因。因。及。及。政。政。府。府。之。之。對。對。此。此。之。之。一。一。致。致。之。之。擁。擁。護。護。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。蘇。蘇。生。  
 以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。此。此。之。之。言。言。之。之。因。因。及。及。黨。黨。之。之。對。對。此。此。之。之。該。該。黨。黨。之。之。擁。擁。護。護。  
 之。之。補。補。充。充。費。費。十。十。方。方。元。元。之。之。請。請。示。示。以。以。此。此。因。因。及。及。黨。黨。之。之。二。二。要。要。求。求。之。之。接。接。受。受。此。  
 以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。支。支。拂。拂。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。印。印。刺。刺。機。機。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。  
 蔣。蔣。貫。貫。以。以。一。一。再。再。生。生。之。之。出。出。版。版。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。因。因。及。及。各。各。政。政。治。治。家。家。之。之。以。以。後。後。該。該。黨。黨。之。之  
 君。君。節。節。梁。梁。實。實。秋。秋。羅。羅。隆。隆。基。基。陸。陸。鼎。鼎。棧。棧。徐。徐。遵。遵。林。林。潘。潘。君。君。來。來。如。如。此。  
 若。若。之。之。人。人。之。之。不。不。可。可。不。不。言。言。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。章。章。士。士。創。創。維。維。又。  
 三

北朝鮮人民委員會外務局

幹。幹。江。江。南。南。羅。羅。王。王。幼。幼。橋。橋。等。等。之。之。該。該。黨。黨。之。之。國。國。際。際。係。係。也。也。以。以。此。此。時。時。期。期。之。之  
 是。是。以。以。任。任。派。派。及。及。C。C。之。之。言。言。之。之。親。親。密。密。可。可。知。知。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。章。章。士。士。創。創。維。維。又。  
 是。是。德。德。之。之。言。言。之。之。人。人。望。望。之。之。汪。汪。精。精。衛。衛。之。之。議。議。長。長。之。之。威。威。謝。謝。北。北。之。之。提。提。案。案。也。也。以。以。此。此。之。之  
 抗。抗。戰。戰。之。之。國。國。際。際。上。上。之。之。因。因。此。此。之。之。抗。抗。戰。戰。之。之。主。主。張。張。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。章。章。士。士。創。創。維。維。又。  
 一。一。般。般。之。之。抗。抗。戰。戰。之。之。主。主。張。張。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。章。章。士。士。創。創。維。維。又。  
 恒。恒。常。常。悲。悲。觀。觀。之。之。論。論。之。之。發。發。以。以。相。相。互。互。之。之。動。動。搖。搖。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。章。章。士。士。創。創。維。維。又。  
 例。例。之。之。言。言。之。之。一。一。九。九。四。四。年。年。冬。冬。戰。戰。會。會。上。上。之。之。言。言。之。之。汪。汪。精。精。衛。衛。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。章。章。士。士。創。創。維。維。又。  
 敵。敵。對。對。抗。抗。之。之。要。要。點。點。之。之。主。主。張。張。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。章。章。士。士。創。創。維。維。又。  
 時。時。局。局。之。之。言。言。之。之。中。中。日。日。戰。戰。之。之。解。解。決。決。之。之。時。時。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。章。章。士。士。創。創。維。維。又。  
 一。一。九。九。三。三。年。年。演。演。表。表。之。之。中。中。華。華。大。大。學。學。之。之。演。演。說。說。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。章。章。士。士。創。創。維。維。又。  
 以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。自。自。然。然。之。之。平。平。和。和。以。以。戰。戰。爭。爭。之。之。兩。兩。種。種。主。主。張。張。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。章。章。士。士。創。創。維。維。又。  
 以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。免。免。於。於。今。今。日。日。之。之。戰。戰。爭。爭。之。之。苦。苦。難。難。也。也。以。以。此。此。之。之。言。言。之。之。章。章。士。士。創。創。維。維。又。  
 三

清稿部

(初)

一九四七年八月九日

東北戰況

北朝鮮人民委員會外事局

東亞部

北朝鮮人民委員會外事局

# 東北戰況

(五月十五日—七月一日) 五月二十日

我軍夏期攻勢之五月十五日早 東西南端以熱河、  
 冀東各師戰場の如く、南進也。同時の敵の対北作戦(進  
 攻的)の展開は相互配合の七月一日の如く、五月十日の  
 敵の敗退八万余名、四三師團(二甲六師)正、敵の占領地  
 域を回復す。敵の占領地は十万余平方キロに  
 達す。敵の解放は、人は約一千万(冀東を除く)の  
 人口、鉄道を控制し、約二四五百餘里に  
 及ぶ。東西南北は、冀東熱河各根  
 拠地を分割計劃し、所謂二、三級守衛の佈置を  
 完全し、粉砕し、対北の四平街、重慶を固守する

## 北朝鮮人民軍

敵の嚴重に打撃を予じ、敵軍の退却、修戦の  
 必要、中長路、北密路、杖杖、走、都地帯を  
 收縮し、所謂重慶防禦の如く、北進の如く、  
 昨年の四平街戦役、敵軍の侵犯は、九師大城、  
 除北の如く、以て、以て解放の如く、以て、早一、  
 高橋、改革の如く、今後我軍の戦い、有利な條件を  
 創造し、以て、以て、以て、以て、以て、以て、以て、  
 敵軍官死七一覽表

| 番号 | 職別  | 姓名  | 数字 | 番号  | 職別 | 姓名   | 数字    |
|----|-----|-----|----|-----|----|------|-------|
| 七師 | 參謀長 | 馮景毅 | 一  | 獨三師 | 師長 | 張上軍官 | 一四    |
| 八師 | 師長  | 韓增標 | 一  |     | 師長 | 張上軍官 | 三三一九一 |
| 三師 |     | 任忠孝 | 一  | 合計  |    |      | 三三三〇九 |

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

敵軍官俘虜一覽表

| 番    | 職別   | 姓 | 名  | 數 | 字 | 備       | 考 |
|------|------|---|----|---|---|---------|---|
| 三軍八師 | 師長   | 陳 | 南文 | 1 |   | 敵俘虜合計是十 |   |
| 三軍九師 | 副師長  | 鄧 | 麟  | 1 |   | 此師以兵力可  |   |
| 三軍二師 | 副師長  | 陳 | 南文 | 1 |   |         |   |
| 三軍二師 | 校以下官 | 兵 | 官  | 4 |   |         |   |
| 合計   |      |   |    | 5 | 5 |         |   |

正規軍及以上擊滅一覽表

|      |   |       |   |      |    |   |   |
|------|---|-------|---|------|----|---|---|
| 七軍八師 | 一 | 新軍新三師 | 一 | 七軍直轄 | 破散 | 數 | 字 |
| 七軍九師 | 一 | 新三師   | 一 | 別一連  |    |   |   |
| 合計   |   |       |   |      |    |   |   |

七軍軍人民委員會外務局

|    |   |    |   |    |   |
|----|---|----|---|----|---|
| 合計 | 四 | 合計 | 四 | 合計 | 八 |
|----|---|----|---|----|---|

敵滅北地方部隊之總數在之

三軍三師、暫三師、獨三師、偽八軍八團、保三團  
 保八團、保七團、保七團、昌黎保安團 合計人數數二六七〇名

我軍收復以敵引占領北縣城一覽表

| 日 | 我軍收復縣城名 | 敵軍佔領北縣城 | 日 | 我軍收復縣城名 | 敵軍佔領北縣城 |
|---|---------|---------|---|---------|---------|
| 雙 | 山       | 一       | 黎 | 樹       | 一       |
| 公 | 五峯      | 一       | 雙 | 陽       | 通化      |
| 通 | 遼       | 一       | 松 | 源       | 一       |
| 通 | 遼       | 一       | 松 | 源       | 一       |

SHIPPING ADVICE NO 2006

BOX 1

ITEM 36

Box 11

Copy 2

| 飛行機 |          | 砲    |      | 迫撃砲  |     | 火箭砲 |     | 戦防砲 |     | 機関砲 |     | 山砲  |     | 榴弾砲 |     | 砲   |     | 砲   |     | 砲   |     | 砲   |     | 砲   |     | 砲   |     | 砲   |     | 砲   |     | 砲   |    |  |  |  |
|-----|----------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|--|--|--|
| 五台  | 二〇〇,〇〇〇發 | 一四六門 | 一〇五門 | 四三門  | 一門  | 三五門 | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  | 一門  |    |  |  |  |
| 長短槍 | 子彈       | 衝鋒槍  | 輕機槍  | 高射機槍 | 戰防槍 | 擲彈筒 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 | 戰防槍 |    |  |  |  |
| 八九五 | 一〇〇,〇〇〇  | 二七六八 | 一九三四 | 三    | 一八  | 一九五 | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八  | 一八 |  |  |  |
|     |          | 戰車破壞 | 汽車   | 駱駝   | 戰馬  | 電氣  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  | 戰馬  |    |  |  |  |
|     |          |      |      |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |  |  |  |
|     |          |      |      |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |  |  |  |
|     |          |      |      |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |  |  |  |
|     |          |      |      |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |  |  |  |
|     |          |      |      |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |  |  |  |

美武裝補獲統計表

北朝鮮人民委員會外務局

以上





| 番       | 總   | 主官  | 原存數    | 消耗數   | 現存數    |
|---------|-----|-----|--------|-------|--------|
| 新<br>一軍 | 軍部  | 孫立人 |        |       |        |
|         | 新八師 | 李漢  |        |       |        |
|         | 新十師 | 潘朔端 | 28,000 | 5,000 | 23,000 |
| 新<br>二軍 | 軍部  | 廖耀湘 |        |       |        |
|         | 新六師 | 李天德 |        |       |        |
|         | 新七師 | 羅又倫 | 32,000 | 7,000 | 25,000 |
| 新<br>三軍 | 軍部  | 陳仁  |        |       |        |
|         | 八七師 | 黃天  |        |       |        |
|         | 八八師 | 韓增棟 |        |       |        |
| 新<br>四軍 | 軍部  | 范琳  | 30,000 | 6,500 | 23,500 |
|         | 二一師 | 趙公  |        |       |        |
|         | 二二師 | 劉本  |        |       |        |
| 新<br>五軍 | 軍部  | 陳建  |        |       |        |
|         | 一八師 | 管漢  |        |       |        |
|         | 一八師 | 陳文  | 30,000 | 2,000 | 22,000 |
| 新<br>六軍 | 軍部  | 范   |        |       |        |
|         | 一八師 | 范   |        |       |        |
|         | 一八師 | 范   | 30,000 | 5,500 | 23,500 |
| 新<br>七軍 | 軍部  | 范   |        |       |        |
|         | 一八師 | 范   |        |       |        |
|         | 一八師 | 范   |        |       |        |
| 新<br>八軍 | 軍部  | 范   |        |       |        |
|         | 一八師 | 范   |        |       |        |
|         | 一八師 | 范   |        |       |        |
| 新<br>九軍 | 軍部  | 范   |        |       |        |
|         | 一八師 | 范   |        |       |        |
|         | 一八師 | 范   |        |       |        |
| 新<br>十軍 | 軍部  | 范   |        |       |        |
|         | 一八師 | 范   |        |       |        |
|         | 一八師 | 范   |        |       |        |

北朝鮮人民委員會外務局

SHIPPING ADVICE # 2006  
 BOX # ~~15675~~ Box 11  
 ITEM # 36 ~~15675~~

Batch No. 189  
 Item # 1122

15675